

# SOCER NEWS SHIGA

(発行) 滋賀県サッカー協会  
(責任者) 理事長代行 北村重夫  
栗太郡栗東町小野796  
(印刷) 株式会社スマイ印刷工業  
栗太郡栗東町川辺568-2

世界にその名を! 井原選手

～W杯出場お祝いパーティーより～

アジア地区予選で井原正巳選手がほとんどをフル出場して活躍しW杯出場を決めたのは記憶に新しいところです。そんなすごい選手が滋賀県出身ということは、とてもうれしいことです。

1月18日(日)午後0時30分から水口壽苑において、その井原選手のW杯フランス大会出場権獲得お祝いパーティーが開かれ、前々日に登表された豪州合宿の日本代表メンバーにもきつちりと選ばれた井原選手のもとに約130名の参加者が集いました。



議員による井原選手のリーダーシップをたたえる話と、守山高校の先生による話（井原選手は校訓の『文武両道・協和進取』を見事に具現しているがはさまれました。

丸山後援会長と岩永衆議院議員のあいさつ、井原夫妻らによる鐘開き、西川水口町長の乾杯によつて開宴したパーティーは、しばらくすると、井原選手のところは、話・サイン・握手・写真を求める人達の長蛇の列となり、さながらサイン会のようになりました。井原選手は午前中も後援会員の集いで約300名の会員の方々と交流してきて疲れがあるはずですが、一人一人の方と丁寧に応対していく、その誠実な人柄が大変印象的でした。そして間近で井原選手を見た女性の「男前すぎてビックリ」という声も聞こえてきました。（ちなみに、恵里子夫人もとてもお奇麗でした。）井原選手にはプレーのだけでなく、出会つた人すべてをファンにしてしまう人間的な魅力を感じました。近年ブレイクしてちょっととうわつき気味のサッカー人気の中でも地に足がついているなという感じです。

なりました。あつと言う間の2時間でした。

最後になりましたが、次の2点について、直接、井原選手に聞いてきましたので、ご報告いたします。

Q1 滋賀県の小・中・高のサッカープレーヤーへのアドバイス

井原 「1つは、サッカーを愛し続けて、喜びを感じながらプレーしてほしい2つ目は、目標をもってプレーしてほしい。3つ目は、これだけは、人に負けないと言う自分の得意などこれをのばしていくほしい。」

Q2 自分のプレーで気をつけていこうと思う点

井原 「すべてにおいてレベルアップしていくたいと思っています。」

この向上心ある限り、井原選手は日本代表のかなめとして活躍し、私達サッカーを愛する滋賀県民に夢を与えて続けてくれるでしょう。フランスW杯では、プレッシャーを喜びにかえて楽しくがんばってほしいと、みんなで心から応援したいと思います。

## 第2回 びゅこカップを終えて

高校・一般監督 坂口博昭  
去る12月13・14日の二日間にわたり、第2回びわこカップ（滋賀県女子選抜招待サッカー）を開催しました。

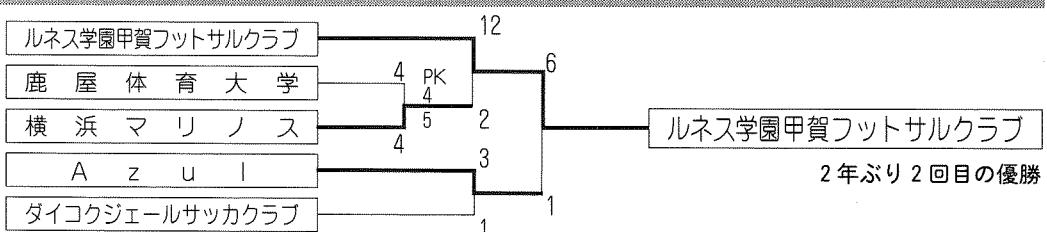
チームを相手にするとまだまだ見習わなければならぬことはたくさんあります。今大会を振り返り特に感じたのが、まず単純なプレーを正確にやらなければだめだということです。ボールを自分のプレー範囲内に止められ、見方へのパスを正確に出せるという基本的なことをもう一度見直すべきだと思います。

ジュニア、ジュニアユース年代に基本を身につけることによつて今後の滋賀の女子サッカーはおもしろく変わっていくことでしょう。

高校一般のチームがそういった基本的なプレーを前回に比べて数多くできるようになつたことが準優勝という結果をもたらしたことだと思います。



第3回全日本フットサル選手権決勝トーナメント結果



第32回府県リーグ決勝大会

## Aブロック

日本精工石部	0 - 1	日本写真印刷	アリーバ甲賀	1 - 4	京都紫光クラブ
日本精工石部	0 - 2	高田F C	アリーバ甲賀	1 - 0	海南F C
日本精工石部	0 - 4	神戸F C	アリーバ甲賀	1 - 5	ホーコクF C

第3回全日本フットサル選手権大会滋賀大会決勝

川之又當園田智 14 (5-0) 1 118

第3回全日本フットサル選手権大会関西大会決勝

川文庫 大學圖書館 4 (2-0) 2 田中南

## 講師に山本昌邦氏を迎える技術講習会開催

# 第2回びわこカップを終えて

12月7日 守山北高等学校においてジュビロ磐田JP、山本昌邦氏を講師に迎え技術講習会が行われた。講習会は午前講義、午後実技にわけて行われた。午前中の講義では指導者を中心に山本氏が世界大会で感じられた日本と世界との違い、そしてそれをふまえて、今後の日本のサッカーの方向性を熱い口調で話された。

特に判断の早さや判断の柔軟性、そのために必要な視野の確保の必要性は、集まった指導者の最も興味を引いた話となつた。

午後は、中・高生の実技指導を実践形式で行われた。その中では午前中の大きなテーマでもあつた視野の確保の具体的な方法とその

高校・一般監督 坂口博昭  
去る12月13・14日の二日間にわたり、第2回びわこカップ（滋賀県女子選抜招待サッカー）を開催しました。

各年代（ジュニア、ジュニアユース、高校一般）ごとに石川、福井、岐阜、三重、大阪より選抜チームを招き、甲西町野洲川グランド、サンヴィレッジグランドの両会場で初日のリーグ戦から二日目の順位決定戦まで熱戦が繰り広げられました。

滋賀県はジュニアの部（小六）で優勝し、ジュニアユースの部（中学）では健闘空しく五位に終わり、高校一般の部では準優勝という結果でした。優勝を果たしたジュニアチームの選手達は六チームの頂点に立てたといふことで自信もつき来年度へのステップにつながることは間違いないでしよう。ジュニアユースや高校一般のチームでは強豪

練習方法について行わ

い選手も、はじめはい指導に気おくれして

徐々にコーチングの意義では指導者を中心にして山本氏が世界大会で感じられた日本と世界との違い、そしてそれをふまえて、

今後の日本のサッカーの方向性を熱い口調で話された。

特に判断の早さや判断の柔軟性、そのために必要な視野の確保の必要性は、集まった指導者の最も興味を引いた話となつた。

午後は、中・高生の実技指導を実践形式で行われた。その中では午前中の大きなテーマでもあつた視野の確保の具体的な方法とその

まだ他県にくらべてとっている本県サッカーチームをとつてはいるが、今回の数の指導者が集まり互に意見交換する姿を見ると近い。という夢がふくらんだ。ただでなく一貫指導者による意識統一もでき、有意義な講習会であった。

ただでなく一貫指導者による意識統一もでき、有意義な講習会であった。

まずはならぬければならない。今大会を振り返す単純なプレーめだということ。プレー範囲内に止めて正確に出せると一度見直すべき。ジュニア、ジ

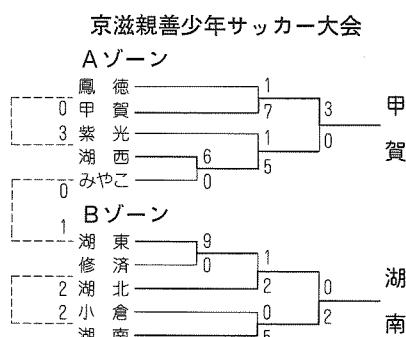
チームがそういった基本的なプレーを前回に比べて多くできるようになつたこと。これが準優勝という結果をもたらしたことだと思います。



平成9年度年間優秀選手一覧

ポジション	氏名	学年	学校名	出身中学
GK	稻葉昌	3年	草津東	八幡西中
GK	小野聰人	2年	草津東	真野中
DF	木戸孝治	3年	草津東	甲西北中
DF	藤森武	3年	草津東	長浜北中
DF	守山真悟	3年	草津東	志賀中
DF	寺上通	3年	守山北	真野中
DF	雨森貴史	2年	比叡山	志賀中
DF	八軒茂隆	3年	北大津	堅田中
DF	東崇史	3年	水口城山	中
DF	植田真介	3年	水口信楽	中
DF	安部毅	2年	水口東	日野中
MF	西尾英明	3年	草津東	長浜東中
MF	寺脇輝	2年	草津東	甲西北中
MF	松井恵介	3年	草津東	日吉中
MF	清水宏明	3年	草津東	甲西北中
MF	原田伸生	3年	守山北	草津中
MF	森芳夫	3年	守山北	野洲中
MF	齋藤剛	2年	比叡山	仰木中
MF	田中健一郎	3年	玉川	栗東西中
MF	竹中克幸	3年	玉川	野洲中
MF	倉嶋寛貴	3年	守山	守山南中
MF	堀井悟志	3年	東大津	志賀中
MF	瀬古務	3年	水口甲賀	中
MF	北村仁史	3年	野洲	石部中
FW	中川学	3年	草津東	彦根南中
FW	岡谷良	2年	草津東	竜王中
FW	清水厚芳	3年	守山	栗東西中
FW	西村英二	3年	北大津	木中
FW	麻原俊彦	3年	水口	日野中
FW	奥村将之	3年	水口	東城山中

第29回滋賀県サッカースポーツ少年団選手権大会		
仰木	2PK勝	
城陽	2	0
秦莊	0	0PK勝
岩根	1	0
野洲	3	2
伴谷	0	2
ラゴ常盤	1PK勝	0
野洲	1	



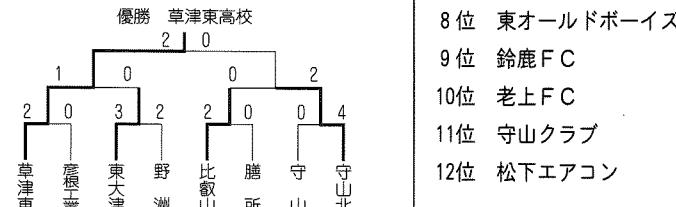
**めざせ Kampo**

5年生以下のチャンピオンを決める木下杯サッカー大会が2月8日から、草津市の野村運動公園などで行われます。各ブロックの厳しい予選を勝ち抜いてきた32チームによって繰り広げられる熱い戦いは、新年度の戦力分析の指標となることでしょう。

上位4チームは、Kampoカップ(近畿小学生サッカー大会)に登場することが出来ます。Kampoカップを目指して熱く燃えるちびっ子戦士達に、温かい声援をお願いします。

- 天皇杯第77回全日本サッカー選手権大会 1回戦  
草津東 0 (3-2) 3 サガン鳥栖
- 第52回国民体育大会  
成年男子 2回戦  
滋賀 3 (2-0) 3 香川  
1-1 PK 2-4
- 第52回国民体育大会  
少年男子 1回戦  
滋賀 0 (5-0) 1 鹿児島

## 平成9年度県民体育大会(高校の部)



11月17日、抽選会で試合相手、会場が決定し、ます選手のコンディションの維持を考え、千葉に直行し、ホテル、試合会場、練習グラウンド、アクセスなどの下見をした。次に調整の練習、練習試合を如何に芝生で行えるかに力を注ぎ、大会直前に三ヶ所、八日間、その条件で戦術面などをチェックできることは大変有意義であった。一回戦は、習志野・秋津・サッカーフィールドで、芝生はやや長目であったが、すばらしいピッチで日大山形と対戦し、FW、MFからのゾーンディフェンスから早い攻撃ができ快勝した。二回戦からは、千葉総合Gに移り、個人技に優れた室蘭大谷と対戦したが、開始早々から集中力を高め、スピードディフェンスで攻撃的な戦から、千葉総合Gに移り、個人技に優れていた室蘭大谷と対戦したが、開始早々から集中力を高め、スピードディフェンスで攻撃的な戦ができた。CKから先制し、その後何度もチャンスをつかむものの追加点が奪えず少し苛立ちを感じたが、DF陣が何とか我慢でき、FKから追加点し、勝利した。三回戦はほとんどが相手の応援が決まり、後半徐々にリズムをつかみ、流れがいい方向に傾きかけたが、決勝機で得点できず、ベスト16で敗退した。

12月25日に出発して1月4日まで選手、

## 草津東高校健闘する!!

### 勝利の軌跡

スタッフが今年度最後の大会に総力をあげ戦えた事は、多くの方々の御協力のお陰だと大変感謝しています。今後、関東のチームに負けない力をつけて、次の目標に向かって頑張りますので、まだ声援の程よろしくお願いします。

## 第76回全国高校サッカー選手権

## 滋賀県大会

## Jrユース県大会(10/12)

## 守山南

## 決勝

## 甲西北中

## 4-0

## 守山南

## 準優勝

## 守山北

## 2-1

## 優勝

## 草津東

## 予選

## 甲西北中

## 6-1

## 緑岡(和歌山)

## 準決勝

## 甲西北中

## 2-1

## 登美北(奈良)

## 準決勝

## 甲西北中

## 0-4

## ガンバ大阪

## 準決勝

## 甲西北中

## 2-1

## 登美北(奈良)

## 準決勝

## 甲西北中

## 0-4

## ガンバ大阪

## 準決勝

## 甲西北中

## 0-4&lt;/